

島根県立横田高等学校図書館報
図書館より...

利用案内		文責 横田高校 学校図書館司書 田中智美
開館時間	8:40~16:45	
貸出冊数	5冊まで(延滞がない場合)	
貸出期限	2週間(予約がなければ延長可)	

NEW BOOKS 6月号のつもりが、7月となってしまいました。もう、夏休も間近ですね。読書感想文用の本も選んでおきましょう。今年の課題図書は、面白そうですよ。

今月の一押し

【913】バニラな毎日 賀十つばき著 閉店が決まった洋菓子店で、なぜか店主と常連客のマダムがお菓子教室を始めることに。生徒はあなた一人だけ。参加条件は悩みがあること。



死んだ山田と教室 金子玲介著 '24 第8回 ブランチBOOK OK大賞受賞 夏休みが終わる直前、人気者の山田が死んだ。悲しみに沈むクラスにふと教室のスピーカーから死んだ山田の声が聞こえた。 図書館新聞にも紹介されていた本。



いのちの十字路 南杏子著 [文庫] 医師となり野呂は、金沢の診療所に戻ってきた。それぞれの家庭の事情に寄り添おうと奮闘する野呂自身、ヤングケアラーだった。



営繕かかや怪異譚 その弐 小野不由美著 [文庫] 営繕屋は 死者の声を聴き、修繕する。 人々の繋がる思いに涙する魂の物語微かに三味線の音が響けば、それは怪異の始まり。古い町、神社の参道の祠、猫の通り道に現れる怪異の数々。住居にまつわる怪異や障りを、営繕屋・尾端(おばな)が修繕する

日本の読み物

【913】おいしくて泣くとき 森沢明夫著 無料で「こども飯」を提供する〈子ども食堂〉から始まる思いやりの連鎖が、温かな奇跡を呼ぶ。 [文庫] リクエスト



ブラザー・サン・シスター・ムーン 恩田陸著 [文庫] 本と映画と音楽……それさえあれば幸せだった奇蹟のような時間。「大学」という特別な空間を初めて著者が描いた、青春小説決定版!

ゆめこ縮緬 皆川博子著 [文庫] 闇に包まれた中洲を舞台に、生者と死者の黒髪に秘められた恋を紡ぐ「文月の使者」、奔放で美しい継母に、少年が見世物小屋で見た原色の記憶を重ね合わせる「桔梗闇」など、大正から昭和初期を舞台に綴る、官能と禁忌に満ちた「日本屈指の幻想小説集」の復刊。

【913】 ナースの卯月に見えるもの3 命の交差点 秋谷りんこ著 がん看護のプロとして病棟を支える看護師・卯月咲笑。彼女には患者が死を意識したときに現れる「思い残し」が見える。孫に会いたい老婦人、結婚目前で病に倒れた若い女性… [文庫] <エッセー> 【914】

知性について 内田樹著 自由に考えるレッスン インプットの方法、アウトプットの原則、学術の意味、複雑化する社会での教育、若い読者へのメッセージまで、知性の本質を縦横無尽に展開する。



休むヒント。 群像編集部編「働き方改革」時代の休み

読書感想文課題図書 入りました!

【913】銀河の図書室 名取佐和子著 県立野垂高校の図書室で活動する「イーハトー部」は、宮沢賢治を研究する弱小同好会だ。部長だった風見先輩は、なぜ突然学校から消えてしまったのか。高校生たちは、賢治が残した言葉や詩、そして未完の傑作『銀河鉄道の夜』をひもときながら、先輩の謎を追っていき一。

【933】夜の日記 ヴィーラ・ヒラナンダニ著 ニューベリー賞オナー賞受賞作! イギリスからの独立、ちがう宗教を信じ、互いを憎みあう、ふたつの祖国。少女の家族は安全を求めて、長い旅へ。自

分の思いを話せない少女は亡き母にあてて日記をつづる。

【369】「コーダ」のぼくが見る世界 聴こえない親のもとに生まれて 五十嵐大著 コーダ(CODA)=聴こえない/聴こえにくい親のもとで育つ、聴こえる子ども。もし、親の耳が聴こえたら一なんて、想像もつかなかった。ときに手話を母語とし、ときにヤングケアラーと見なされて、コーダは、ろう者とも聴者とも違う複雑なアイデンティティを抱えて揺れ動く。



方の処方箋

君たちが生き延びるために 高校生と22の対話 天童荒太著 [新書] 誰にもある「ルック・アット・ミー(わたしを気にして)」という権利を自覚し、しっかり生き延びてほしいという、小説家から高校生へのメッセージ。



【916】あらゆることは今起こる 柴崎友香著 「私の体の中には複数の時間が流れている。」ADHDの診断を通じて小説家が自分の内側で一体何が起きているかを考えた。

<郷土資料> 【092】出雲国風土記 島根県古代文化センター編

寄贈本

<哲学>

【100】歩くという哲学 フレデリック・グロ著 世界で21の言語に翻訳され、フランスで8万部売れたベストセラーの完訳！世界を動かした小説、詩、哲学は、歩行によって生まれた。

【159】考え方ひとつで明日はもっとうまくいく 内藤誼人著 今のわたしが一番いい！一心からそう思える100のヒント 新書

<伝記>

【281】根っからの悪人っているの？ 被害と加害のあいだ 坂上香著 加害者が被害者を、そして被害者が加害者を「わかる」ことはできるのか。どうしたら、被害も加害もなくすることができるのか？

<教育>

【370】世界の教育がどこへ向かうか 能力・探究・ウェルビーイング 白井俊著 不確実な時代を生き抜く力とは？ 新書

<科学>

【400】世界のかげら図鑑 古河郁著 物理、数学、天文学、鉱物、錬金術……自然科学分野の不思議な現象と美しいエピソードを、絵と文で紹介する図鑑。

【486】バッタを倒すぜアフリカで 前野 ウルド 浩太郎著 13年間、世界中各地で重ねてきたフィールドワークと実験は、バッタの大発生を防ぐ可能性を持っていた！新書大賞受賞、25万部突破の『バッタを倒しにアフリカへ』続編。



【493】傷を愛せるか 増補新版 宮地尚子著 文庫 どれほど医療が進んでも、傷ついた心を癒す薬はない。悲痛に満ちた被害者の回復には何が必要か。臨床医による深く沁みとおるエッセイ。



【498】快眠法の前に今さら聞けない睡眠の超基本 ビジュアル版 柳沢正史編 睡眠の不思議から、睡眠負債を解消する方法、ぐっすり眠るための環境の整え方まで、睡眠研究の第一人者による最新の睡眠科学がわかる一冊。

食品衛生学 食をとりまく危害要因を科学の視点から正しく理解するために 中島肇他編

<技術>

【588】発酵はおいしい！ イラ

ストで読む世界の発酵食品

<マンガ>

【726】北高まちおこし部はまちおこさない 出倉ナオ作 北高文芸部は“まちおこし部”へと強制的に改部させられることに。顧問の明智、部長の工藤、部員のアララギは部の平穩のために、「アンチ青春」を掲げる。しかし、悪そうな大人の出現、ライバルの登場、寂れゆく町の住人たちが抱えている諸事情によって、3人はとことん青春せざるをえない状況に……。学園コメディ。



<言語>

【810】世にもあいまいなことばの秘密 川添愛著 「この先生きのこるには」「大丈夫です」これら表現は、読み方次第で意味が違ってこないか。このような曖昧な言葉の特徴を知れば、余計な誤解もなくなるはず。新書

名作まちがいがし

「ジュラシック・パーク」
マイクル・クライトン

ティムとレックスは、滝の裏側にあったパークの設備が置かれた場所で、グラント博士を待っていました。そこに、彼らを追っていたティラノサウルスが、滝の表側から水流を割って頭を突っ込み、二人に襲い掛かってきて……。下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください。

答えは図書室に掲示します。

高校生に読んでほしい50冊 2025 ありがとうございます！

この冊子に載っている新潮文庫で、図書館になかった本を買いました！

(泣) 【913】月まで三キロ 伊予原新著

(考) おカネの教室 高井浩章著

【933】灯台へ V.ウルフ著

【911】名前と呼ばれたこともなかったから 奈良少年刑務所詩集 寮美千子編

(恋) 【914】イヤシノウタ 吉本ばなな著

(驚) 【913】マイ国家 星新一著

【156】葉隠入門 三島由紀夫著

【210】室町は今日もハードボイルド 清水克行著

(熱) 【290】地上に星座をつくる 石川直樹著

【943】荒野のおおかみ ヘッセ著